

授業科目名： 教育学入門	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：市原光匡 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>現在、教育が抱えるさまざまな問題について、多くの人々が各自「教育論」を展開している。教育との関わりはほとんど誰もがもつものである以上、それは当然のことともいえよう。しかし「教育論」だけで、教育の抱えるさまざまな問題を語るには限界がある。教育について議論するには「教育論」だけではなく、「教育学」の基本的な知識と考え方が必要である。このような観点から、この授業では、以下の 3 点において、教育学の基本的な知識と考え方を修得し、自ら考える力を習得することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育の歴史と公教育制度の成立のあらましを理解し、説明ができること。</li> <li>2. 近現代の教育をめぐる思想を理解し、それぞれの区別ができること。</li> <li>3. 教育学の研究枠組みを理解し、説明ができること。</li> </ol>			
<p>授業の概要</p> <p>学問分野としての教育学を理解するにあたって、現代社会における教育の現状と課題を概観し、教育の役割を確認しながら教育学の研究方法に触れる。また、近現代の教育思想をふり返り、現代の教育を考える示唆を得る。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：オリエンテーション</p> <p>第2回：教育とは・教育の目的とは</p> <p>第3回：教育問題を考える (1) いじめ</p> <p>第4回：教育問題を考える (2) 不登校</p> <p>第5回：教育問題を考える (3) 体罰と生徒指導</p> <p>第6回：教育問題を考える (4) 学力問題</p> <p>第7回：教育問題を考える (5) 家庭教育</p> <p>第8回：近代教育の思想の形成 (1) 西洋の近代教育思想 (教育史・教育哲学)</p> <p>第9回：近代教育の思想の形成 (2) 日本の近代教育思想 (教育史・教育哲学)</p> <p>第10回：近代教育思想の制度化 (1) 海外の教育制度史 (教育制度論)</p> <p>第11回：近代教育思想の制度化 (2) 日本の教育制度史 (教育制度論)</p> <p>第12回：近代教育の超克 (1) 新教育思想 (教育哲学)</p> <p>第13回：近代教育の超克 (2) 生涯教育論 (生涯学習論・社会教育学)</p>			

第14回：近代教育の超克（3）教育改革（教育制度論・比較教育学）

第15回：現代教育の問題とは（その他の研究領域）

定期試験

テキスト

テキストは特に指定しない。

参考書・参考資料等

小川正人・森津太子・山口義枝〔編著〕『心理と教育を学ぶために』放送大学教育振興会，2012. その他授業中に適宜資料を配布する。

学生に対する評価

平常点 30%、定期試験 70%の比率で評価する。